

中学生の保護者の皆様へ

Machida Next Education

～いつでも どこでも だれとでも～【家庭学習編】

家庭学習推進の4つの視点

- 1 学習習慣の確立
- 2 生活習慣の定着・規範意識の醸成
- 3 読書の推進
- 4 ICT を活用した家庭における学びの推進

家庭学習の推進で



【保護者向け動画】

町田市の ICT 教育

～2021 年度からの取組について～

<https://youtu.be/QhBYAmjg9Bo>



2021年6月
町田市教育委員会

はじめに

中学生の皆さんが楽しく充実した学校生活を送るためには、「勉強が楽しい」と思い、「勉強が分かる」ことが必要です。そのためには、学校の授業だけでなく、自分で計画的に取り組む「家庭学習」が大切です。

家庭学習に取り組む上で、この手引きの「1」から「3」の3つの視点を参考にして、家庭学習に取り組みましょう。

1 学習習慣の確立

「学校と協力して、宿題や予習・復習に計画的に取り組みましょう。」

家庭での学習習慣の確立は、学力の向上には有効です。学校の授業と家庭での宿題や予習・復習の取組が効果的に結びつくことで、学習内容が一層定着します。また、保護者の働きかけがある子どもの学力は、高いという傾向があります。家庭学習の習慣を身に付けるためには、子ども自身の努力はもちろん、学校と家庭が互いの役割を理解し合うことが大切です。



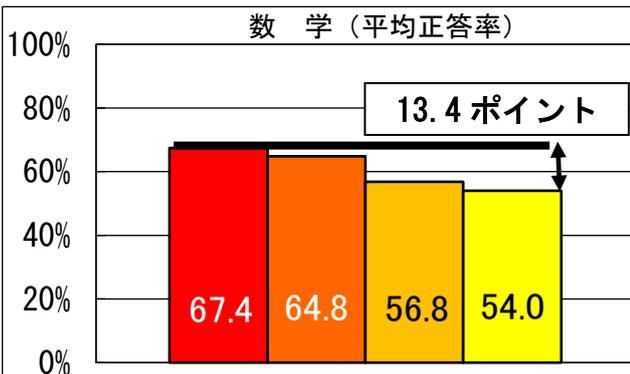
- 学校では、各教科等で教員が作成した教材等を活用します。
- 家庭では、積極的に子どもの話を聞いてあげましょう。
- 家庭では、限られた時間を有効活用し、計画的に予習、復習に取り組みましょう。

「エビングハウスの忘却曲線」を見てみましょう。

「エビングハウスの忘却曲線」とは、心理学者のヘルマン・エビングハウスによって導かれた、人間の脳の「忘れるしくみ」を曲線で表したものです。

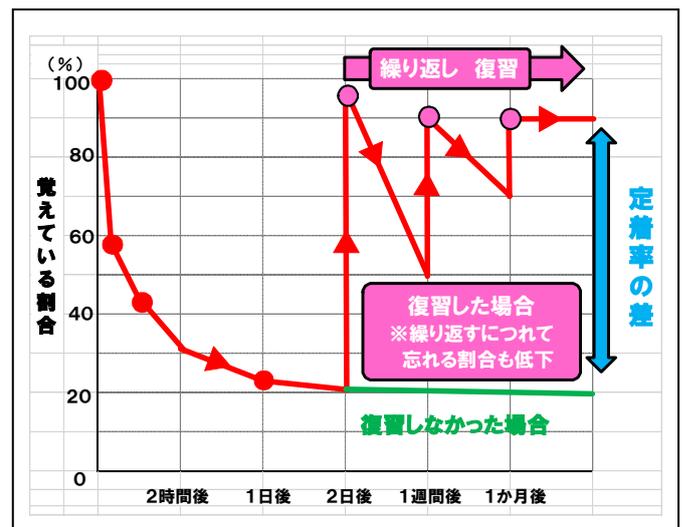
家庭学習と学力の関係

「平成31年度全国・学力学習状況調査より」
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」



■ している	67.4%
■ どちらかと言えばしている	64.8%
■ あまりしていない	56.8%
■ 全くしていない	54.0%

エビングハウスの忘却曲線と繰り返し学習

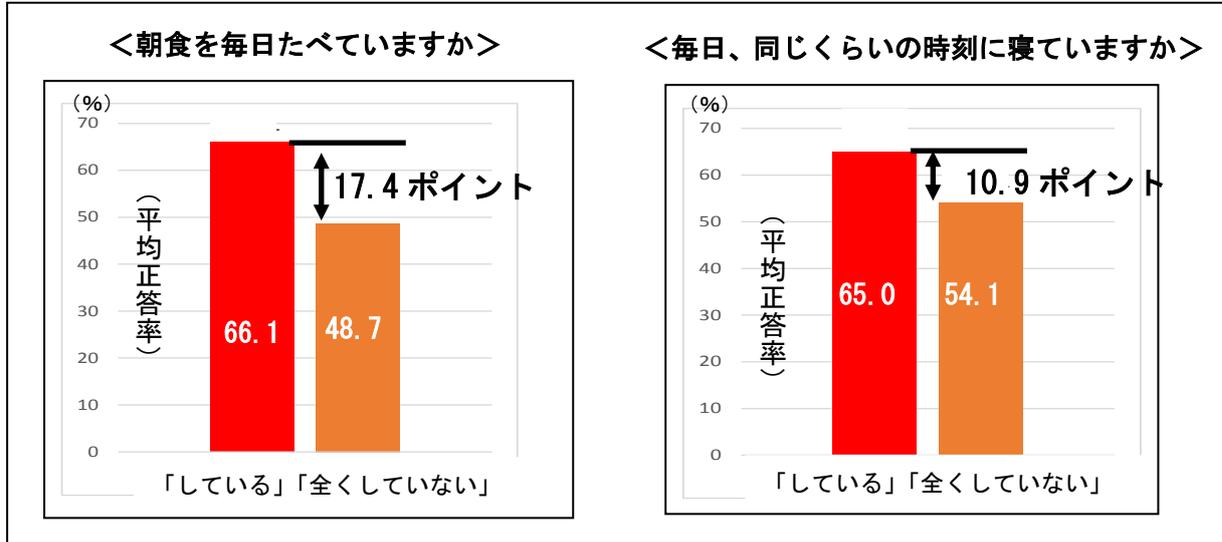


参考：ヘルマン・エビングハウス (1850~1909 ドイツ 心理学者)

学校で覚えたことを「復習した場合」と「復習しない場合」を比較すると、繰り返し学習することで、忘れる割合も低下します。また、家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒と全くしていない生徒では、正答率が13.4ポイントもの差があります。

2 生活習慣・規範意識を身に付ける

生活習慣と学力の関係 「平成31年度全国・学力学習状況調査より」



平成31年度全国学力・学習状況調査結果（中学校）より（※正答率は、国語、数学、英語の平均値）

朝食をとっている生徒ととっていない生徒では、正答率が17.4ポイントもの差があります。また、毎日同じ時刻に寝ている生徒と寝ていない生徒では、10.9ポイントもの差があります。規則正しい生活をすることは、学力の向上につながる傾向があります。

「テレビを見る時間、ゲームで遊ぶ時間、 携帯電話を使う時間を決めましょう。」

これらの過度の利用は家庭学習の妨げになるだけでなく、生活の乱れやトラブルの原因につながることもあります。利用する時間帯や場所、内容について家庭のルールを決め、きちんと利用できるように継続的に見守りましょう。また、調べ学習など学ぶツールとして有効活用できるように、正しい使い方について家庭で話し合しましょう。



～SNS 家庭ルール（例）～

- SNSは1日1時間以上利用しない。
- 食事中は使わない。寝室では使わない。
- 午後●時以降はスマートフォンの電源を切る。
- 毎週●曜日はスマートフォンの電源を切る。

※SNS・・・「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略。ネットワーク上のコミュニケーション機能をもったサービス全般を指す。（メール、掲示板、無料通話アプリ、ゲーム、画像投稿サービス等）

3 読書の推進

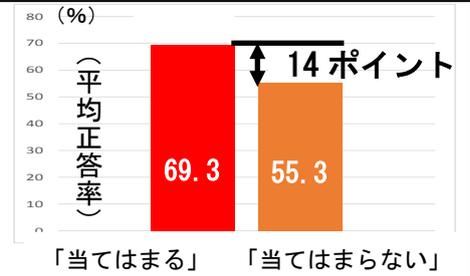
「本に親しみ、読書が好きになるようにしましょう。」

読書は使える言葉を増やし、言語の感覚を豊かにして考える力を育てます。家庭でも、学校との連携や町田市立図書館の利用を通して、本に親しみ、読書が身近になるようにして、読書習慣が身に付くようにします。

○学校では、朝読書の時間を設定したり、図書委員会を中心に本の貸出をしたりします。

○家庭では、様々なジャンルの本を読んだり、読んだ本の感想をノートにまとめたりしましょう。

「読書が好きですか」の質問に「当てはまる」と回答した生徒と「当てはまらない」と回答した生徒の平均正答率



平成31年度全国学力・学習状況調査結果（中学校）より（※平均正答率は国語、数学、英語の平均値）

「読書が好きですか」という質問に「当てはまる」と回答した生徒と「当てはまらない」と回答した生徒では、正答率が14ポイントもの差があります。読書が好きになることは学力の向上につながる傾向があります。

町田市の学力向上の取組（町田市教育プラン2019-2023より）

子どもたち一人ひとりが安心して学校に通い、粘り強く学習に取り組むことができるように、一人ひとりの学習状況に応じて、認めたり励ましたりしながら学習を支援していきます。

えいごのまちだ事業



小学校では、リズムに合わせた発音練習（チャンツ）や、英語の歌、音声ペンや絵本等を活用した授業を行っています。

中学校では、GTECによる4技能の効果測定を行い、指導に生かしていきます。

ICTを活用した教育の推進



授業では、大型提示装置やChromebookなどのICT機器を効果的に活用していきます。

教員間で、ICT機器を活用した優良事例を共有できる仕組みづくりや研修等を行います。

放課後学習の充実



放課後における学習活動支援を充実させ、地域の実情・支援に応じた様々な実施方法を検討します。

科学教育の推進



科学センターでは、児童・生徒が直接体験しながら、楽しく観察・実験できるような取組をしています。

4 ICT を活用した家庭における学びの推進

町田市のICT教育～2021年度からの取組について～

「ICT を活用した家庭での学びのスタイルを創りましょう」

学校では子どもたち一人ひとりが、タブレット端末を活用します。これまでよりも自由に想像力を働かせる学びができるようになります。クラウド型小中一貫学習支援ソフト(ドリルソフト)は、子どもたちの学習記録データを蓄積し、一人ひとりの力にあった問題をAIが出題して解説を行います。また、データに基づき、子どもたちが苦手になっている内容を学校の授業に取り入れることができます。タブレット端末を持ち帰り、自らの学びのスタイルを創り出すことで、学習意欲も高まっていきます。

ICTの活用でできること・身に付く力

タブレット端末を活用した学び

タブレット端末の機能を使い、課題に対して、友達と意見を交換したり、共有したりすることが簡単にできるようになり、自分で問題解決する力が身に付きます。また、プレゼンテーションの資料も作成することができ、自分の考えを発信することが容易になります。



個別最適化

一人ひとりの理解に応じた学習問題を出題するクラウド型小中一貫学習支援ソフトを導入します。自分の力に合った問題を解き、学習の履歴をデータとして残すことで、学力を伸ばします。

情報活用

インターネットを使った情報収集とその活用が学校でも家庭でもできるようになります。



身に付く学力

問題発見・解決力

情報発信力

情報活用能力

町田市のICT教育

2021年度からの取組について



<https://youtu.be/QhBYAmjg9Bo>

ICTを使った新しい学びの様子を動画で配信しております。QRコードから、ぜひご覧ください。

学校やご家庭での学び方が変わります

学校で

授業中、先生の質問に対して



手を挙げてい
るけど、
なかなか
当たらない。



みんなの前
で発表する
のは、緊張す
る。



自分の意見
をいつでも
みんなに伝
えられる。
友達の考え
もよくわか
るよ。



大きな声で発
表するのは苦
手だけど、こ
れなら自分の
考え方を伝え
やすいよ。

ご家庭で

もっと難しい問題
に挑戦したい。



問題が難しく
て、一人では
わからない。



間違えても、
説明してく
れる機能が
あるから分
かりやすい。



自分に合
った問題
を宿題で
できるか
ら、学習が
楽しい。

保護者の方へのお願い

～タブレット端末の貸与にあたって～

確認書の提出

使用の開始に合わせ、学校から配布する「タブレット端末・ドリルソフトの利用申込書について」を確認の上、利用申込書を提出してください。

タブレット端末の返却について

卒業や転出の際には、学校に返却していただきます。また学校へ返却していただく時には、本体のほか、電源コードを忘れずに返却していただくよう、お願いします。

破損・紛失について

タブレット端末を破損、紛失した場合には、すぐに学校にお知らせください。破損・紛失の状況によっては弁償していただく場合がございます。



タブレット端末の充電について

原則、学校で充電を行います。翌日の学校の授業で使えるように、ご家庭での使用後は、バッテリー残量をご確認ください。



インターネット接続回線について

家庭での利用の際は、ご家庭のインターネット回線を使わせていただきますよう、お願いします。



フィルタリングの設定について

学校のネットワーク環境では、安全なサイトが閲覧できるようにあらかじめ設定されています。ご家庭のネットワーク環境では、状況により、制限されるサイトが異なります。ご家庭のネットワーク環境の設定内容をご確認ください。

タブレット端末使用にあたり、ご家庭でお子様と確認してください

学校でも指導いたします。ご家庭でもお子様と確認していただきますよう、お願いします。

取り扱いについて

タブレット端末は、「落とす」「たたく」「水に濡れる」などすると故障します。大切に扱うことを、ご家庭の使用でもお声がけください。

情報モラルについて

「インターネットには、自分や友達の個人情報を書き込まない。」「自分の考えを伝える時には、内容や伝わり方を考えて、言葉や表し方を選ぶ」ことなど、インターネットやICTへの適切なかわり方をご家庭でも話題にしてください。

タブレットを使う時の約束（中学生）

<基本の約束>



- タブレット端末は学習のために使います。学校でも、家でもそれ以外に使うことは禁止します。
- 落としたり、乱暴に扱ったりしないようにします。
- 水をかけたり、ぬらしたりしないようにします。
- 故障や破損があった時は、学校に連絡してください。
- 自分のアカウントは、大切に管理します。
- タブレット端末や学習ドリルソフトにログインする時のパスワードは他人に教えないようにします。



こわれた時、調子が悪い時は、学校に連絡をお願いします。

<学習に使う時の約束（学校でも家でも同じルールです。）>

◎インターネットを使うとき

- 学習で使うサイト以外には、アクセスしないようにします。
- 検索サイトは、学習に関係することを調べる時のみ使用します。
- 自分や周りの人の個人情報（名前、住所、電話番号、顔が映っている写真）などは、インターネット上で紹介したり、書きこんだりしません。



◎カメラを使うとき

- 学習に必要なことを撮影する場合でも、他の人やものを許可なく勝手に撮影してはいけません。
- 撮影の時に周りに映り込む景色も、個人情報につながる場合があります。撮影するものや場所についてもよく考え、家庭でも必ず他の人を許可なく勝手に撮影してはいけません。

◎意見を書くとき

- 相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることを書いてはいけません。読む人への伝わり方を考えて、書くようにします。

<持ち帰りの約束>

壊れないようにランドセル、通学用のかばんに入れて持ち運びます。

続けて利用するのは最長30分とし、その後は必ず1分程度休憩をとりましょう。

家での利用時間は、家の人とよく話し合い、決めます。

利用時間以外は、家の人分かる場所で保管します。

家で使った後は、明日の学習で使えるように、バッテリー残量を確認します。



決めた時間内で学習に活用！

雨の日は、タブレットがぬれないように、注意しましょう。落としやすい手さげのかばんは、持ち運びには不向きです。

<健康を守るための約束>

姿勢よく座り、目とタブレットの間は、30cm以上離して使います。

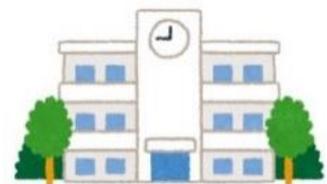
寝る1時間前からは、タブレットの利用をしないようにします。

目とタブレットは、はなします。目がつかれた時には、遠くを見たり、休憩したりします。



学校の約束

-
-
-



ご家庭での約束

家の方と話し合い、家庭で使う時の約束を決めましょう。(例:「夜9時以降は使わない。」など)

-
-
-



Machida Next Education～新しい学校の1日～（登校編）

児童・生徒		教員
<p>下校後、家庭学習に取り組む。</p> 	<p>前日</p>	<p>Classroom に、次の日に使う教材を準備する。</p>  <p>明日クラスの授業で使う資料を、子どもたちが見られるように準備をしよう。</p>
<p>子どもたちは教室で朝会に参加します。</p> 	<p>ホームルーム</p>	<p>朝会や集会の内容は、MEET で配信する。</p>  <p>感染症予防の観点から、全校で集まるのが難しい時にも、朝会や集会ができます。</p>

授業

1 時間目、算数（数学）の授業では・・・

- 1 教科用デジタル教材（デジタル教材）を使って、「体積」の学習をする。

どの展開図が直方体になるのか、よくわからない・・・







教師用のデジタル教科書を使うと、展開図を動画の中で組み立てられる！解答に困っている児童に説明がしやすいです。

- 2 今日の学習内容を学習ドリルソフト「navima」で復習する。

一人ひとりの学習の進み方を、教員用画面で確認

この単元は得意なので、発展問題にも挑戦してみよう。





〇〇さんは、同じ問題を5分以上考えているので、個別に声をかけをすることにしましょう。



間違えた問題も、解説動画で考え方が分かった！似た問題は、自分の力で解くことができた！

授業後・・・
この問題は、間違えている生徒が多いので、次の時間にもう1度説明しよう。



2時間目、国語の授業では・・・

1 課題について自分で考える。

まずは、自分の考えをノートにまとめてみよう。



タブレット端末を使って、自分の考えを記録しておくことにしよう。

2 考えたことを Google スプレッドシートに一斉に書き込んで、考えを共有する。

スプレッドシートに自分の考えを書き込んで、自分の考えを伝えよう。



全員の考えを短い時間で把握できるので、子どもたちの力に合わせた授業を進められます。

学級の友達全員の意見を知ることができるので、おもしろい！

3時間目、体育の授業では・・・

1 実技の様子を動画で撮影する



どんなふうに跳び箱を跳んでいるか、動画で撮影をしよう。



動画を見て分かったことを話し合おう！



話し合ったことを動きに生かそう！



下校後

宿題が終わったら

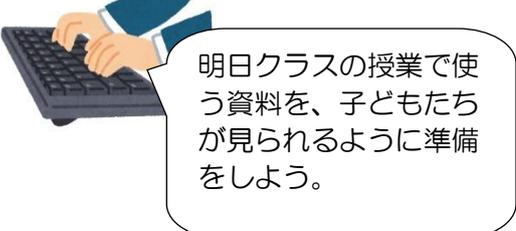
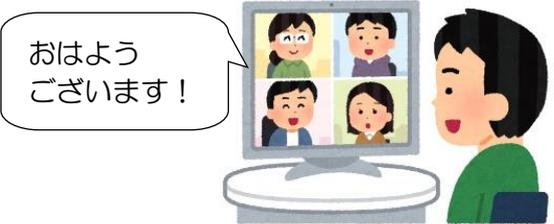
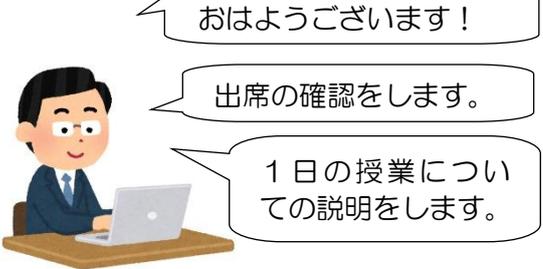
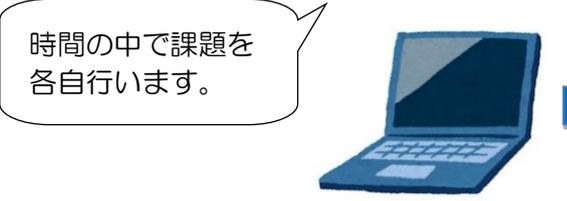


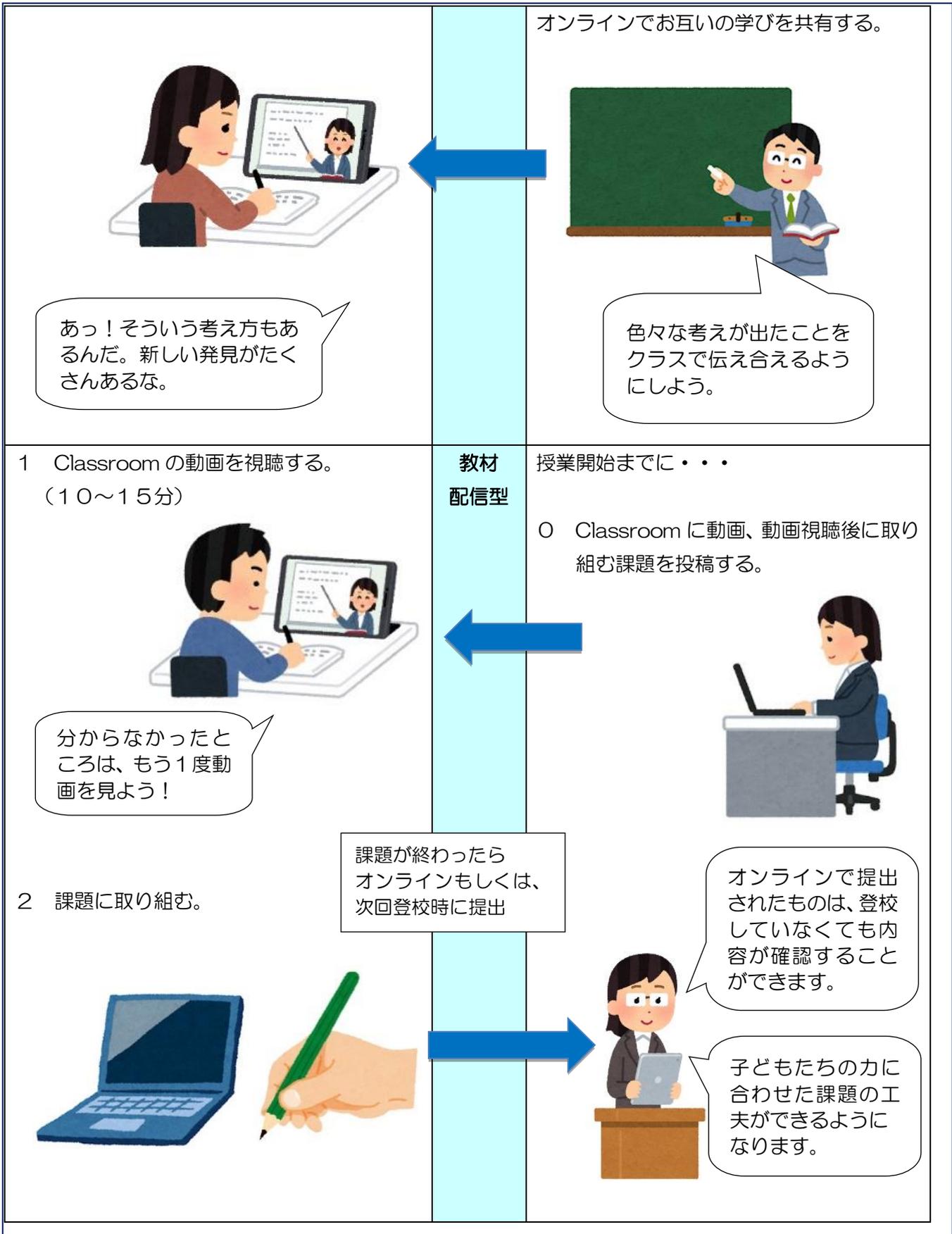
学校からタブレットを使って行う宿題が出たので、やってみよう！

オンラインで提出された宿題は、すぐに確認をすることができます。



Machida Next Education～新しい学校の1日～ (テレスタディ編)

児童・生徒		教員
 <p>明日はオンラインで授業を受けるので、タブレット端末のバッテリー残量を確認しよう。</p>	<p>前日</p>	<p>Classroom に、次の日に使う教材を準備する。</p>  <p>明日クラスの授業で使う資料を、子どもたちが見られるように準備をしよう。</p>
<p>朝の会に Meet で参加する。</p>  <p>おはようございます！</p>	<p>ホーム ルーム</p>	<p>ホームルームの内容は、Meet で配信する。</p>  <p>おはようございます！</p> <p>出席の確認をします。</p> <p>1日の授業についての説明をします。</p>
授業		
<p>1 Meet をつなぐ オンラインで授業に参加する。</p>  <p>説明を聞きます。</p> <p>2 Meet を切り、課題に取り組む。 (20分程度)</p>  <p>時間の中で課題を各自行います。</p> <p>3 Meet をつなぐ。 オンラインで授業に参加する。</p>	<p>Live 型 (同時双方向)</p>	<p>1 Meet をつなぐ。 授業をオンラインで15分程度行う。</p>  <p>新しく勉強することの説明をします。</p> <p>2 課題を提示する。</p>  <p>これから、Class room に配布したスライドに分かっていることをまとめましょう。</p> <p>20分後に Meet に集合しましょう。</p> <p>3 MEET をつなぐ。</p>



Machida Next Education で育つ子どもの学びの姿

タブレット端末を学校の授業や家庭学習等で活用することにより、児童・生徒が自分自身で学びたいことを見付け、考え、解決する力、自分に必要な情報を選択し、問題解決に役立てる情報活用能力を伸ばしていきます。一人一人の課題の習熟度に応じた学習である「個別最適化」も、ICTの活用によって、実現します。下記の視点で子どもの学びの姿を一覧にまとめ、小・中学校9年間を通して町田市の子どもの力を育成していきます。

【身に付ける力】：「自分で学ぶ」「友達と学ぶ」「考えをまとめ表現する」

【情報活用力の視点】：「Google for Education」「クラウド型小・中一貫学習支援コンテンツ」「教材用デジタル教材・デジタル教材」「プログラミング的思考」「情報モラル・セキュリティ」

学年	自分で学ぶ	友達と学ぶ	考えをまとめ表現する	Google for Education	クラウド型小・中一貫学習支援コンテンツ「navima」	教科用デジタル教材・デジタル教材	プログラミング的思考	情報モラル・セキュリティ	
小学校	第1・2学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使い、課題に応じて個別学習を進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 友達が書き込んだ文章を読んで感想をもつことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを手書き入力や音声入力で行き書き込みすることができる タブレット端末を使い、写真を撮ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> スライドやJamboardに自分の考えを書くことができる スライドやJamboardに画像を貼り付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた時間に、個別最適化された問題に取り組みすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等の二次元コードを読み取り、インターネット上のデジタル教材を利用することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な手順を順序だてて説明することができる 自分や相手のことを考えて話したり、伝えたりすることができる 自分のIDやパスワードを守るすることができる 	
	第3・4学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使い、課題の中で自分のめあてを設定して、個別学習に粘り強く取り組むことができる 検索機能を使って、教員の示したWEBページを見つけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 友達が書き込んだ意見と自分の意見を比べて、同じ所や違うところを見つけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字入力で自分の考えを書き込むことができる 自分の使いたい画像を取り込んで、資料を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメントやスライド、スプレッドシート等に自分の考えを書いたり、情報をまとめることができる Jamboardの協働編集機能を活用し、グループで考えをまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のめあてを決めて、個別最適化された問題に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学習に必要なデジタル教材を選択し、教科書等の二次元コードを読み取り利用することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフを用いて、情報や手順を整理・説明することができる 問題解決に向け、見通しを立てて手順の組み合わせを考え、実行することができる 自己の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとするができる インターネットの使いすぎについて考え、自分の生活について振り返ることができる 	
	第5・6学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用し、自分に必要な学習めあてを考えながら、個別学習に取り組むことができる 検索機能を使って、WEBページから必要な情報を見つけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決を目指し、協働編集機能を活用しながら話し合い、より良い考えを見付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を目的に応じて集め、まとめることも、他者に説明することができる 自分の考えを分かりやすく伝えるための資料を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> フォームを作成し、自分の欲しい情報を集めることができる ドキュメント、スライド、スプレッドシートの協働編集機能を活用し、グループで課題を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の苦手とするところを分析しながら、自分のめあてを決めて個別最適化された問題に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科用デジタル教材の基本的な機能(拡大、マーカー、動画や音声の再生など)を知り、授業の中で活用することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 意図した処理を行うための、適切なプログラム制作ができる 問題解決に向け、計画を立案し、他者と協議しながら実行することができる 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上に個人情報や写真を掲載することの問題点を理解し、適切に行動することができる 不審なメールや迷惑メールなどに適切に対処することができる
中学校	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用し、自分の目標に応じた課題を選択しながら、個別学習に取り組むことができる 検索機能を使って、複数のWEBページから必要な情報を見つけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決を目指し、協働編集機能を活用しながら話し合い、より良い考えを見付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を目的に応じて集め、まとめる方法を選択することができる 自分の考えを分かりやすく伝えるために、表やグラフを用いて情報を整理することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメント、スライド、スプレッドシート、Jamboardを学習に合わせて使うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査などから自己分析を行い、必要であれば小学校の内容に戻りながら、個別最適化された問題に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科用デジタル教材の基本的な機能を知り、授業の中で活用することができる 教科用デジタル教材の発展的な機能(考えの整理や作図)を利用して考えをまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 意図した処理を行うための、適切なプログラム制作ができる 問題解決に向け、計画を立案し、他者と協議しながら実行することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する自己の権利を知り、個人情報を適切に管理することができる ルールやマナーを守り、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを利用することができる
	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用し、自分の目標に応じた課題を選択しながら、個別学習に取り組むことができる 目的に応じて、情報の真偽を考えながら、適切に検索することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決を目指し、協働編集機能を活用しながら話し合い、複数の計画を立案・評価することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や根拠に基づき、論理的・客観的に分析・判断したことを伝える資料を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメントやスライドを利用して、学習レポートを作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇などの際に、自分の目標に応じた課題を選択し、計画を立て、個別最適化された問題に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科用デジタル教材の基本的な機能を知り、授業の中で活用することができる 教科用デジタル教材の発展的な機能を利用して考えをまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に向け、複数の計画を立案し、評価・改善しながら実行することができる 情報の傾向や変化を捉え、解決策を考察することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、チャット、電子掲示板、Web、SNSなどを適切に利用することができる 目的に応じてアプリやインターネット上のサービスを安全に利用することができる
	第3学年	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用し、進路を考えながら課題や目標を設定し、個別学習に取り組むことができる 目的に応じて適切に検索し、多角的に情報を収集することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決を目指し、協働編集機能を活用しながら話し合い、情報を統計的に整理し、考察することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を、情報とその結びつきの観点から捉え、批判的に考察し、判断したことを伝える資料を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> スプレッドシートの関数を利用して、情報を統計的に整理することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 進路を考えながら課題や目標を設定し、個別最適化された問題に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科用デジタル教材の基本的な機能を知り、授業の中で活用することができる 教科用デジタル教材の発展的な機能を利用して考えをまとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークを介したコンピュータ同士の接続を伴うプログラムを作成することができる 表やグラフ、計算などにより、情報を統計的に整理することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する個人の権利と重要さを踏まえ、適切に行動しようとすることができる 情報や情報技術をよりよい生活や持続可能な社会づくりに生かそうと考えることができる



考えをまとめ表現する姿の例（小学校）



友達と学ぶ姿の例（中学校）